

各 位

上場会社名 FCM株式会社
 代表者 代表取締役社長 市居 律雄
 (コード番号 5758)
 問合せ先責任者 専務取締役 川森 晋治
 (TEL 06-6975-1324)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年4月26日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,500	99	108	64	37.56
今回修正予想(B)	8,200	△47	△20	△46	△27.00
増減額(B-A)	△300	△146	△128	△110	
増減率(%)	△3.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	9,866	66	71	47	27.66

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,300	291	300	180	105.63
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	18,042	168	206	113	66.32

修正の理由

当期における当社の業績はデフレによる消費者マインドの冷え込みからの需要低迷、国内の電力供給問題、不安定な海外経済の影響もあり、当初見込んでいた受注が大きく伸び悩んでいることと大型案件の逸注も重なり苦戦を強いられています。顧客並びにマーケットの分散による利益構造の安定化、研究開発部門における次期量産化アイテムの早期獲得、製造原価および経費の削減、人員の再配置による業務効率化に注力し利益の向上に取り組んでおりますが、平成25年3月期第2四半期において当初の業績予想を達成することが困難なため、上記のとおり業績予想を修正いたします。

通期の業績につきましては、電子機能材および電気機能線材の両事業共に少しでも計画に近づけるべく受注の確保、コスト削減に注力しておりますが当初の予想を達成することは非常に難しいと考えております。また、電子機能材事業の属する電子部品業界は全体市場及び当社客先の市場シェア等の変化も激しく、現時点では業績を予想することが困難であるため、通期の業績予想は改めて発表させていただく所存であります。

以上